

性のあり方の多様性に関する基本指針

性的指向や性自認など、性のあり方は多様であり、これらに関する差別や偏見を解消し誰もが自分らしく安心して過ごすことができる大学や社会を目指すことは、すべての本学構成員が取り組むべき課題です。龍谷大学は、「人権に関する基本方針」のもと、本学構成員の一人ひとりが、性的指向および性自認などに関する悩みや生きづらさを抱える人がいることを常に理解し、合理的な配慮を可能な限り提供するため、次のとおり基本指針を策定します。

- 教育、学修、研究、就業等の環境において、性のあり方に関する偏見や差別が生じることがないよう不断の学習と啓発に努めます。
- 具体的な対応にあたっては、悩みや生きづらさを抱える本人の意思を尊重して合意形成を目指します。
- トイレや更衣室等の利用にあたり、戸籍上の性別等にかかわらず性自認にしたがって自らが選択できるよう、環境整備と理解の醸成を図ります。
- 性のあり方に関する個人情報の保護を徹底します。

－東京レインボープライドへの出展にあたって－

龍谷大学は、平和を希求し、人種、民族、国籍、ルーツ、宗教、信条、社会的立場、年齢、性別、性的指向・性自認、障がいの有無などにかかわらず、多様なすべての人が共に学び、働き、関わり合える社会を目指し、さまざまな現代的課題と真摯に向き合いつつ、学びや施策等の取り組みを実施してきました。近年では、LGBTQなどの性的マイノリティに対する嘲笑や差別により深く傷ついている人がいることに気づいてこなかった反省に立ち、「性のあり方の多様性に関する基本指針」を定め、さまざまな活動を展開し情報を発信しています。残念ながら、社会では、SNSなどにおいて性的マイノリティに対する攻撃的な言葉が溢れています。それは決して他人事ではありません。心の窓を閉ざし思い込みの世界に籠れば、誰もが知らず知らずのうちに他者を傷つけてしまうこともあるでしょう。人のつながりが希薄になり分断が危惧される今こそ、心の窓

を開き新鮮な空気を吹き込む必要があります。多様な考え方や多様な人との出会いは、新たな価値創造の源泉であり、多様な性のあり方を学び尊ぶことがよりよい社会づくりへの参画につながるのです。

この度、学生グループの「龍谷大学 LGBTs 交流サークルにじりゅう」と「政策学部 Ryu-SEI GAP にじっこ」を中心とした学生有志と教職員が、性の多様性を認め合う社会を目指す「東京レインボープライド 2023」に出展します。多様性を大切にする龍谷大学の社会課題解決に向けた実践として、主体的に行動し社会を変えていくこうとする学生・教職員の勇気にエールを送るとともに、LGBTQなどの性的マイノリティの人たちをはじめ、すべての人が、ありのままの自分を受け入れ、自分らしく生きることができる社会への扉を開く一助になることを切に願います。

Happy Pride !

龍谷大学 学長 入澤 崇

龍谷大学 Ryukoku University

東京レインボープライド 2023 ブース：パープル 23



ほんまんぱる



実は佛教系大学です。

性的指向や性自認について、ゆるゆるおしゃべりしています。半期に一度のペースで開催します。



詳しくはQRコードからアクセスしてください。



青い花も黄色い花も赤い花も、白い花も、それぞれの色で輝いて香しく咲いています。人権冊子「白色白光」にSOGIについて書いています。



ジェンダー・セクシュアリティ相談。事前申込制で、教職員が相談を受けます。個人情報は厳守しますので安心して相談できます。

Insta, Twitter, Facebook, Youtube
は龍谷大学宗教部で検索



性別に関係なく利用できる「だれでもトイレ」、生理用品ディスペンサーOitrもあります。新築予定の建物にはオールジェンダートイレを設置計画中です。



いろんなイベントをしています。12月には LOVE & PEACE WEEKとして展示や講演会を開催。学生の活動を支援する制度もあります。学生と教職員が一緒に作り上げています。



大学生のための LGBTQ サバイバルブック Vol.1、2、3
Vol.2 と 3 はオンラインで PDF 版を読めます。



LGBTQ などへの取り組みの評価指標「PRIDE 指標」でシルバーの評価を受けています。残念ながら一部の制度が未整備なので、早期に実現できるよう取り組んでいきます。

